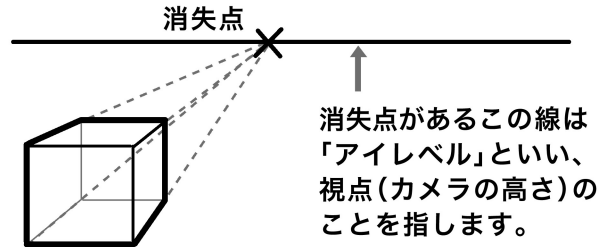


キャラクターの部屋を描こう

部屋はパーソナルな空間、そこには必ず生活感やリアリティが必要となります！
どんなキャラが住んでいるのか想像を膨らませて部屋に家具を置いて空間をデザイン
してみましょう！今回は「一点透視図法」を使って描きましょう。

【一点透視図法とは？】

奥行きのある線を一つの点(消失点)に向かって描く図法のこと。高さの縦線は垂直、幅の横線は水平で描きます。



【作画の工程】

①消失点を見つける

<POINT>
課題用紙に描かれている壁と天井の線から導き出せるよ！

②家具の大きさと配置を決める

<POINT>
壁や床を利用して大きさを導きだそう！

③家具の大まかなアタリをとる

<POINT>
まずは簡単な箱型を置いてバランスをみよう！

いきなり描き込まないんだよ☆

これなら簡単だ！

④ディテールを加える

アタリ線を薄くしてから描き込むといいよ！

<POINT>
資料などを参考にしているよ！

<余裕があればペン入れ・仕上げまで進もう！>

⑤ペン入れ

<POINT>
線を使い分けて立体感を出そう！

丁寧に...

⑥ベタやトーン仕上げ

<POINT>
色表現や影表現で完成度をあげよう！

課題

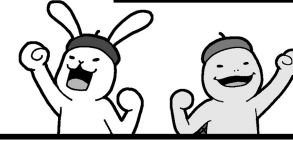
別紙の作画用紙に一点透視図法で家具を描き込みましょう！
キャラの職業・趣味・性格などから生活を掘り下げてどんな物が置かれるかイメージしてみてくださいね！！



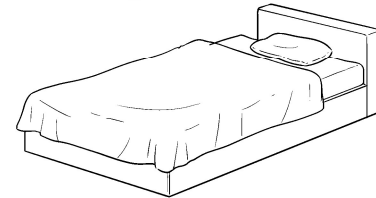
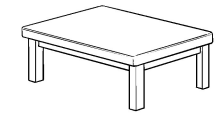
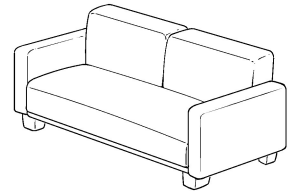
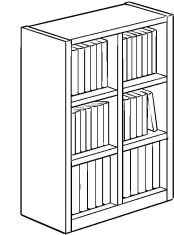
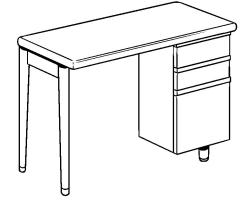
キャラクターの部屋を描こう：作画用紙

月 日
氏名

- ☆壁の線をヒントにアイレベル上に消失点を見つけて、家具を描き込んでみましょう
- ☆住人のキャラクターと一緒に描いてもOK!

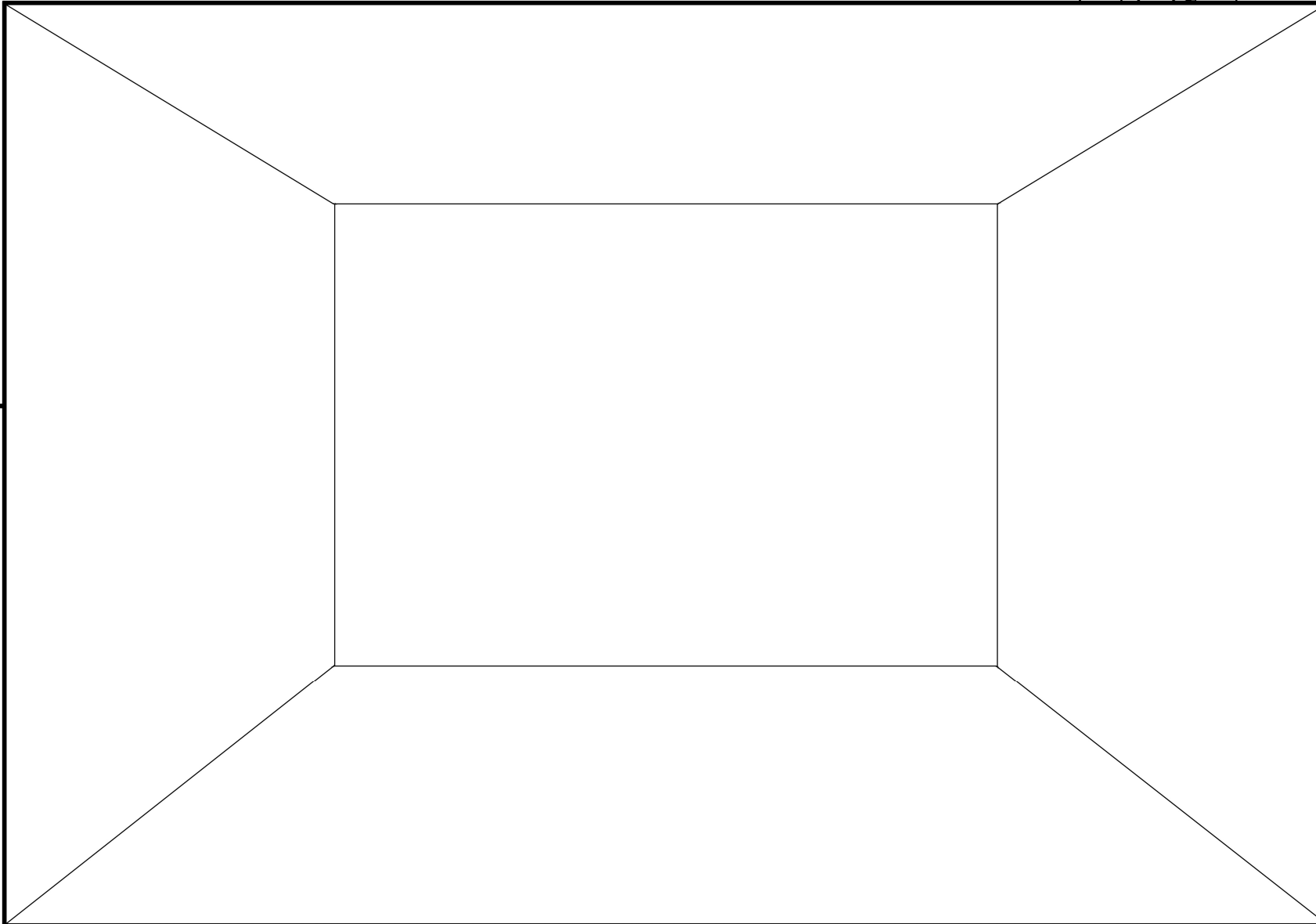


家具の一例



デザインは自由です☆
キャラの個性に合わせて
みよう!

アイレベル



PEN&INK

氏名

年 月 日

【例】

- 顔のパーツ → 丸ペン
- 髪の毛 → サジペン
- 主線（輪郭等） → Gペン



つけペンを使って色々な線を引いてみよう！

Gペン（筆圧の変化によって太い線から細い線まで引ける）

サジペン（硬めで強弱はあまりつかず、湾曲な線が引ける）

丸ペン（最も短い線が引け、強弱もつけやすい）

ベタとは？

マンガ用語で黒く塗りつぶすことを言います。ベタの中に光やツヤを表現することをツヤベタといいます。ベタの入れ方によって表現の幅も非常に広がります。どこにどのようなベタを入れるか、悩めながら入れてみましょう！

トーンを重ねれば、質感アップ！

▼ ベン線のみ



▼ 全ベタ仕上げ



▼ ツヤベタ仕上げ



【なぞり練習】

下の例を参考にしながら
右のキャラクターを完成させよう！



例

(つやベタ)
筆ペン

自分で色々
アレンジして
みてね☆

(主線)
Gペン

はみだしたり
いらぬところは
ホワイトで
ケすのぞ。

(影や色表現)
スクリーントーン

ミリペン

(ベタ・つやベタ)
筆ペン



なぞり練習の工程 () 内は使用素材 / ペン入れ → ベタ塗り → スクリーントーン → 完成



() 先生からのアドバイス

誰でも描ける！ カンタン背景講座(自然物)

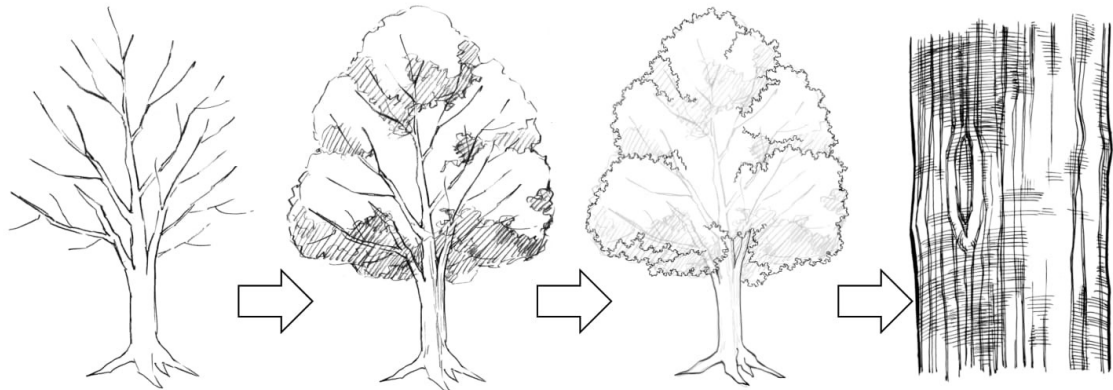
月 日

氏名

ストーリーマンガでは、キャラクターが今どこで何をしているかという状況を伝えることが、とても重要な要素の1つになります。

今回は背景の中で比較的ポピュラーな自然物に挑戦してみましょう！

木の描き方



枝のアタリを描く

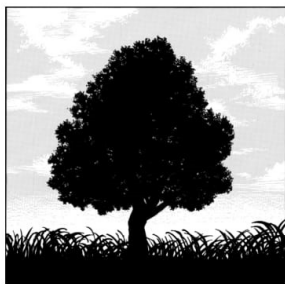
全体のシルエットを
大まかにとる

ペン入れは
細い凸凹をつける

枝葉のかたまりに
影をつける

仕上げにこだわろう

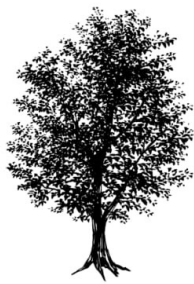
自然物はペントッチや、ベタ、トーンなどの仕上げ処理で個性が出ます。自分のキャラクターに合わせた処理を研究していきましょう



ベタ

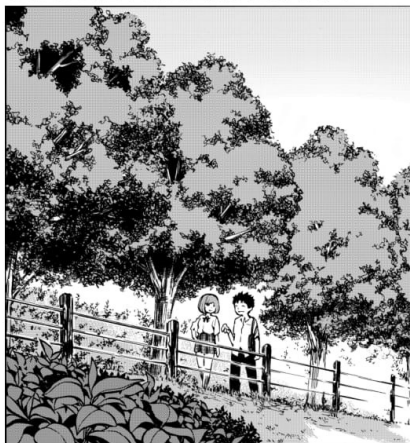


ペントッチ



筆ペン

手前の物ははっきりと、奥のものはぼかして描くと遠近感が出ますよ！



講師 () 先生からのアドバイス

オリジナルキャラクターと、その背景に自然物を描きましょう。

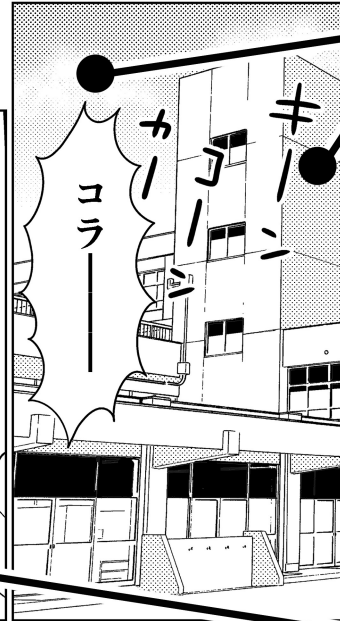


日本マンガ塾 体験課題

プロみたいにマンガを仕上げてみよう！

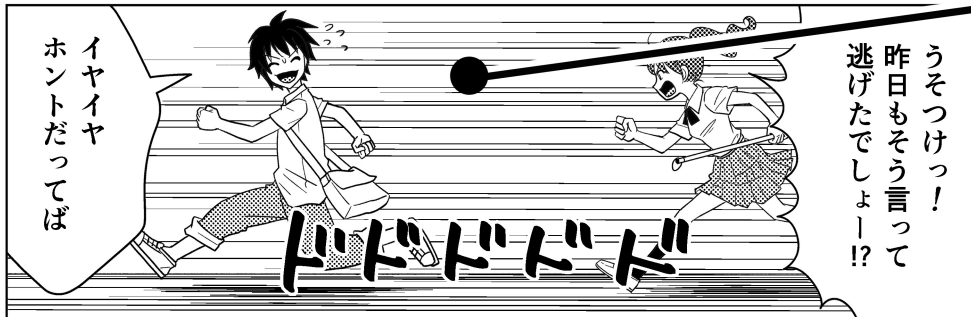
マンガの仕上げ方によって、場面の印象は大きく変わってきます。
下の仕上げ例を参考に、ベタ、トーン、効果線を使って、別紙のマンガを仕上げてみよう！

仕上げ方の例



トーン

トーンはモノクロのマンガの中で色や影の表現として用いられ、ぼかし(削り)を入れる事により雲を作ることができます。とても表現の幅が広い仕上げのアイテムです。



効果線

効果線は線だけで迫力やスピード感を出すことができます。シーンの演出として欠かせないテクニックです。効果線には「集中線」や「スピード線」などがあります。



ベタ

ベタとはマンガ用語で「黒くぬる」ことです。キャラクターや背景に入れることで画面が引き締り、メリハリを出すことができます。黒髪にツヤを入れる表現を「ツヤベタ」といいます。